



Sharp Print Support APP

取扱説明書

Ver. 1.0

お願い

- この取扱説明書は、Sharp Print Support App のインストール方法と Sharp Print Support App 独自の機能の設定方法を説明しています。基本的なプリント機能については、各プリンター/複合機の取扱説明書をご確認ください。
- この取扱説明書ではこのソフトウェアをご利用いただくに当たり、導入者及び利用者がお使いの Windows®コンピュータについて実用的な知識を持っていることを想定して説明しています。
- OS(オペレーティングシステム)に関する事柄については、必要に応じて OS の説明書またはヘルプ機能を参照してください。
- この取扱説明書では、画面の説明や操作手順は、Windows 11 でお使いになる場合を主体に説明しています。OS(オペレーティングシステム)のバージョンにより表示される画面が異なることがあります。

ご注意

- この取扱説明書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することを禁止します。
- この取扱説明書の内容は、改良のため、予告なく変更することがあります。

- Windowsは米国 Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、取扱説明書の中で記載されている会社名や商品名は各社の商標または登録商標です。

目 次

1 Sharp Print Support App について	3
1-1 システム環境	3
1-2 Sharp Print Support App の動作条件	3
2 複合機のセットアップ	4
3 Sharp Print Support App のセットアップ	5
3-1 動作環境	5
3-2 Sharp Print Support App のセットアップ	5
3-3 Sharp Print Support App の削除	6
3-4 登録された複合機の削除	6
4 Sharp Print Support App の設定	7
5 印刷方法	8
5-1 基本的な印刷の仕方	8
5-2 ユーザー認証機能が設定されている場合のプリント方法	9
5-2-1 ユーザー情報ファイルを作成する	9
5-2-2 プリント時にユーザー情報を設定する	10
6 印刷機能	11
6-1 よく使うプリント機能について	11
6-1-1 カラーモードを選択してプリントする	11
6-1-2 用紙の両面にプリントする	12
6-1-3 用紙のサイズに合わせてプリントする	13
6-1-4 1 ページに複数ページのデータをプリントする	14
6-1-5 用紙をステープルでとじる/パンチ穴をあける	15
6-2 便利なプリント機能について	17
6-2-1 冊子の作成に役立つ仕上げ機能	17
6-3 知っておくと便利なプリント機能	18
6-3-1 プリントデータを保存して使用する（リテンション／ドキュメントファイリング）	18

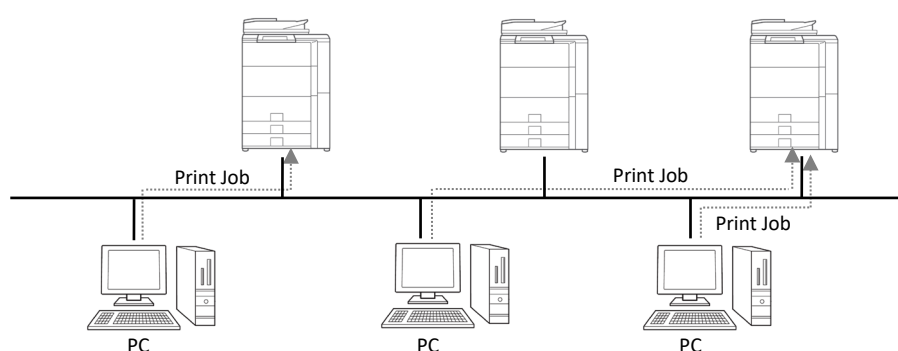
1 Sharp Print Support App について

Sharp Print Support App は、プリンタードライバーを使用せずに印刷を実行する技術である「Microsoft PSA (Print Support Application)」に対応したアプリケーションソフトです。

Sharp Print Support App をセットアップし、当社製の PSA 対応複合機をお使いの Windows コンピューターに追加すれば、従来のプリンタードライバーと同様の操作で印刷ができます。

1 - 1 システム環境

Sharp Print Support App は、以下のシステム環境での使用を想定しています。



各クライアントユーザー（あるいは IT 管理者）がクライアント PC に「Sharp Print Support App」と「PSA 対応複合機」を登録します。

印刷時にプリントジョブは複合機へ直接送信されます。セットアップ方法については 2 章 / 3 章をご確認ください。

1 - 2 Sharp Print Support App の動作条件

インターネットプロトコル	IPv4、IPv6 (IPv6 は対応する複合機のみ)
ポートの種類	IPP、IPP-SSL/TLS、mDNS
対応言語	日本語、米語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、フィンランド語、ポルトガル語、簡体字、繁体字
複合機側に必要な機能	PS 機能

2 複合機のセットアップ

Sharp Print Support App をセットアップする前に、複合機がネットワークに接続されていることを確認してください。また、複合機の以下のような設定を確認してください。

mDNS :

手 順

1. 複合機のシステム設定にアクセスし、ネットワーク設定＞サービス設定ページを開く
2. 「mDNS」タブを開く
3. 「mDNS」を「有効」にする
4. 必要に応じ「サービス名」を設定する
コンピューター上で表示される複合機名になります。

IPP プリント :

手 順

1. 複合機のシステム設定にアクセスし、プリンター設定＞PC/モバイル端末からのプリント設定ページを開く
2. 「ドライバーを使用しない IPP プリント」を「有効」にする

または

1. 複合機のシステム設定にアクセスし、ネットワーク設定＞外部プリントサービス設定＞AirPrint 設定ページを開く
2. 「IPP」を「有効」にする
3. 「IPP-SSL/TLS」を「有効」にする

WSD :

手 順

1. 複合機のシステム設定にアクセスし、ネットワーク設定＞プリントポート設定ページを開く
2. 「WSD」タブを開く
3. 「WSD 印刷」を「無効」にする

ユーザー認証関連設定 :

ユーザー認証機能を有効にしている複合機で Sharp Print Support App を使用する場合、以下の設定を行ってください。

手 順

1. 複合機のシステム設定にアクセスし、認証設定 ＞ 初期設定ページを開く
2. 「プリンタードライバー以外の IPP 認証を有効にする」を無効にする

3 Sharp Print Support App のセットアップ

3-1 動作環境

Sharp Print Support App をセットアップする前に、お使いのコンピューターが下記の条件を満たしていることを確認してください。

OS の種類	Windows 10 22H2、Windows 11 22H2 以降
コンピューターの種類	IBM PC/AT互換機 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T対応のLANボードを装備している機種
ディスプレイ	1024x768 ドットの解像度で 16 ビット色以上の表示能力を推奨
インターネット接続	必要

3-2 Sharp Print Support App のセットアップ

手 順

1. お使いのコンピューター(Windows OS)上で、スタートメニュー > 設定 > Bluetooth とデバイス を選択し、「Bluetooth とデバイス」ページを開く
2. 「プリンターとスキャナー」を選択する
3. [デバイスの追加]を選択する

4. 2章で設定した複合機を選択し、[デバイスの追加]を選択する

コンピューターに「Sharp Print Support App」がインストールされ、複合機が登録されます。

2 台目以降の複合機を追加登録する場合も、手順 1 からの操作を繰り返してください。

3-3 Sharp Print Support App の削除

手順

1. お使いのコンピューター(Windows OS)上で、スタートメニュー > 「すべてのアプリ」を選択する
2. アプリ一覧の中の「Sharp Print Support App」を右クリックし、「アンインストール」を選択する

3-4 登録された複合機の削除

手順

1. お使いのコンピューター(Windows OS)上で、スタートメニュー > 設定 > Bluetooth とデバイス を選択し、「Bluetooth とデバイス」ページを開く
2. 「プリンターとスキャナー」を選択する
3. 3-2 章で登録した複合機が表示されるので、選択し、「デバイスの削除」を実行する

4 Sharp Print Support App の設定

Windows のスタートメニューから「Sharp Print Support App」を選択すると、アプリが起動します。

アプリ上では以下の設定が可能です。

設定	説明
プリンターの選択	各設定の対象とする複合機を選択します。 「すべてのプリンター」を選択すると、コンピューターに登録されたすべての複合機を設定の対象とします。
プリントリリース	プリントリリース機能を有効にします。
ドキュメントファイリング	ドキュメントファイリング機能を有効にします。
ログイン名に Windows ログイン名を使用する	この機能を有効にすると、ユーザー認証のログイン名として、自動的に Windows ログイン名を設定します。 制限事項： 「ユーザー番号」を設定することはできません。 また、「ログイン名」を Windows のログイン名から変更することはできません。
ユーザー名にログイン名を使用する	この機能を有効にすると、ログイン名に入力した文字列をユーザー名に対して自動的に設定します。 制限事項： 本機能を使用すると、「ユーザー認証機能」の「ログイン名」を使用する状態がデフォルトとなります。 また、「デフォルトジョブ ID」の「ユーザー名」を変更することができません。

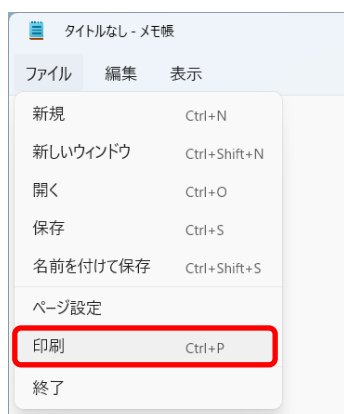
5 印刷方法

5-1 基本的な印刷の仕方

下記の手順は、Windows に標準で付属しているアプリケーションソフト「メモ帳」からプリントする場合を例に説明します。

手順

1. メモ帳の「ファイル」メニューから「印刷」を選択する



2. Sharp Print Support App の設定画面を開く

(1) Sharp Print Support App に登録された複合機を選択する

- 複合機やプリンタードライバーがアイコンで表示されているときは、使用する複合機のアイコンをクリックします。
- 複合機やプリンタードライバー名が一覧で表示されているときは、使用する複合機名を一覧から選択します。

(2) [その他の設定]ボタンをクリックする



複合機の設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

3. プリント設定を行う

Sharp Print Support Appで設定を変更後、再度Sharp Print Support Appで設定を確認すると、変更した内容が反映されずに表示されます。

ただし、ユーザー認証の情報は反映された状態で表示します。

4. [OK]ボタンをクリックする



5. [印刷]ボタンをクリックする

プリントが実行されます。



5-2 ユーザー認証機能が設定されている場合のプリント方法

システム設定（管理者）でユーザー認証機能が設定されているときは、プリント時に Sharp Print Support App の設定画面でユーザー情報（ログイン名やパスワードなど）のファイルからの読み込みが必要になります。複合機を使用するために必要な情報は、設定されている認証方式によって異なりますので、あらかじめ管理者にご確認ください。

注意:

ユーザー認証機能を有効にしている複合機で Sharp Print Support App を使用する場合、2 章に従って「プリンタードライバー以外の IPP 認証を有効にする」を無効に設定してください。

5-2-1 ユーザー情報ファイルを作成する

本体のユーザー認証方式に従って、ユーザー情報ファイルを作成してください。

文字コードは UTF-8 を指定してください。

ユーザー認証方式	作成方法				
ログイン名方式	Excel を使い、ログイン名のみを記述した CSV(.csv)ファイルを作成してください。 セルの書式設定を文字列に設定してください。 ログイン名は全角 127 文字/半角 255 文字以内です。 例: ログイン名が「AAAAAA」の場合 <table><tr><td>AAAAAA</td><td></td></tr></table>	AAAAAA			
AAAAAA					
ログイン名/パスワード方式	Excel を使い、ログイン名とパスワードを記述した CSV(.csv)ファイルを作成してください。 セルの書式設定を文字列に設定してください。 ログイン名は全角 127 文字/半角 255 文字以内、パスワードは半角 1~32 文字(英数文字)です。 例: ログイン名が「AAAAAA」、パスワードが「aaaaaaaa」の場合 <table><tr><td>AAAAAA</td><td>aaaaaaaa</td></tr></table> 例: 「ログイン名に Windows ログイン名を使用する」が On、パスワードが「aaaaaaaa」の場合 <table><tr><td></td><td>aaaaaaaa</td></tr></table>	AAAAAA	aaaaaaaa		aaaaaaaa
AAAAAA	aaaaaaaa				
	aaaaaaaa				
ユーザー番号方式	Excel を使い、ユーザー番号のみを記述した CSV(.csv)ファイルを作成してください。 セルの書式設定を文字列に設定してください。 ユーザー番号は半角 5~8 桁です。 例: ユーザー番号が「11223344」の場合 <table><tr><td>11223344</td><td></td></tr></table>	11223344			
11223344					

5-2-2 プリント時にユーザー情報を設定する

手順

1. アプリケーションソフトのプリント画面でプリンタードライバーの設定画面を開く

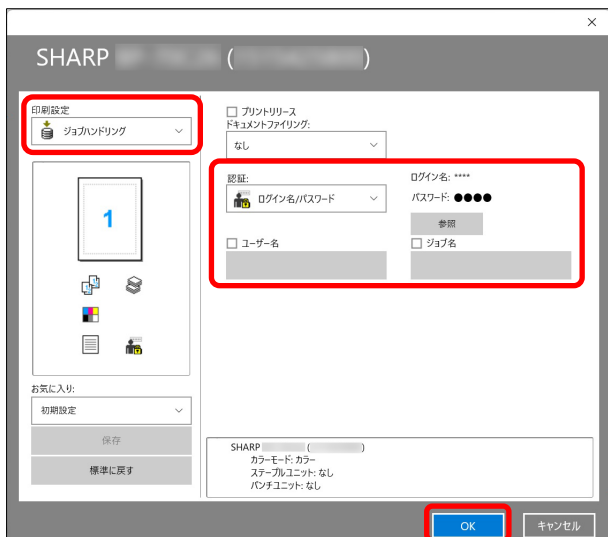
(1) 複合機を選択する

(2) [その他の設定]ボタンをクリックする



複合機の設定画面を開くためのボタンは、[プロパティ]や[印刷設定]など、お使いのアプリケーションソフトによって異なります。

2. ログイン名とパスワードを入力する



(1) 「ジョブハンドリング」メニューを選択する

(2) 本体のユーザー認証方式に合わせ、「認証」を選択する

(3) 参照ボタンを押し、5-2-1 で作成したファイルを登録する

(4) 必要に応じてユーザー名、ジョブ名を入力する

• ユーザー名

「ユーザー名」チェックボックスをクリックして ☒ にし、ユーザー名を全角 16 文字（半角 32 文字）以内で入力します。入力したユーザー名は複合機の操作パネル上で表示されます。入力しない場合、複合機にはコンピュータのログイン名が表示されます。

• ジョブ名

「ジョブ名」チェックボックスをクリックして ☒ にし、ジョブ名を全角 40 文字（半角 80 文字）以内で入力します。入力したジョブ名は複合機の操作パネル上でファイル名として表示されます。入力しない場合、アプリケーションソフトで設定したファイル名が表示されます。

(5) [OK]ボタンをクリックする

3. [印刷]ボタンをクリックする

プリントが実行されます。



6 印刷機能

6-1 よく使うプリント機能について

ここでは、よく使われる機能について説明します。

用紙サイズの設定など基本的な設定が行われていることを前提に説明しています。Sharp Print Support App 設定画面の開きかたや基本的なプリントのしかたについては、5-1 基本的な印刷の仕方を参照してください。

Sharp Print Support App で設定を変更後、再度 Sharp Print Support App で設定を確認すると、変更した内容が反映されずに表示されます。ただし、ユーザー認証の情報は反映された状態で表示します。

6-1-1 カラーモードを選択してプリントする

ここでは、Sharp Print Support App 設定画面のカラーモードを選択してプリントする手順について説明します。「カラーモード」は、次の3つの項目から選択できます。

- 自動： ページごとに色を判断してプリントします。白黒以外の色が使われているページは Y（イエロー）・M（マゼンタ）・C（シアン）・Bk（ブラック）トナーを使用し、白黒のみが使われているページは Bk（ブラック）トナーのみを使用してプリントします。カラーと白黒が混じっている原稿を複数枚プリントするときに便利ですが、プリント速度は遅くなります。
- カラー： すべてのページをカラーでプリントします。カラーのデータ、白黒のデータのいずれも Y（イエロー）・M（マゼンタ）・C（シアン）・Bk（ブラック）トナーを使用してプリントします。
- グレースケール： すべてのページを白黒でプリントします。画像やプレゼンテーション資料など、カラーのデータも Bk（ブラック）トナーのみを使用してプリントします。レイアウトの確認や文字校正など、カラープリントする必要のない場合に使用するとカラートナーの節約につながります。

「カラーモード」で「自動」を選択した場合

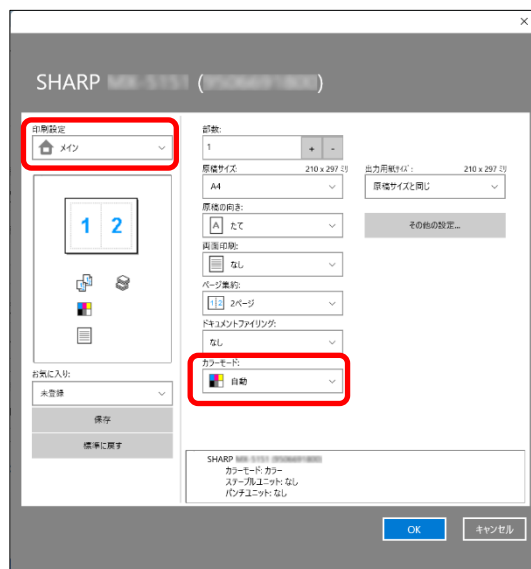
プリント結果が白黒であっても、下記のようなプリントデータは、Y（イエロー）・M（マゼンタ）・C（シアン）・Bk（ブラック）の4色のカラーとしてカウントされます。常に白黒としてカウントしたいときは、「グレースケール」を選択してください。

- データがカラーデータとして作成されているとき
- データが白黒であっても、アプリケーションソフトがカラーデータとして扱うとき
- 白黒画像の下に画像が隠れているとき

手順

1. 「メイン」メニューを選択する

2. 「カラーモード」を選択する



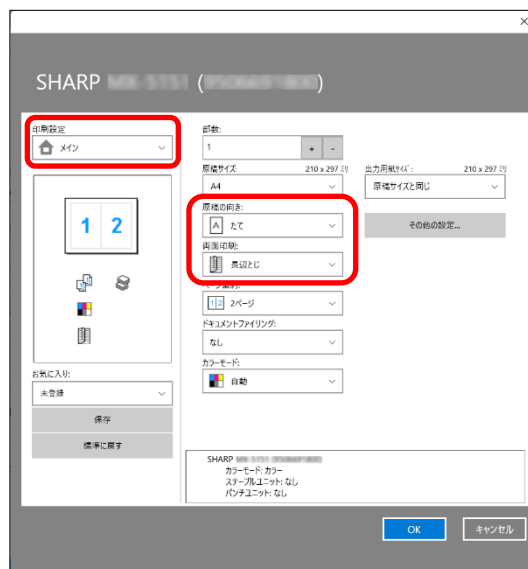
6-1-2 用紙の両面にプリントする

データを用紙の両面にプリントすることができます。かんたんな冊子を作成したいときなどさまざまな用途に使用できます。また、両面プリントは用紙の節約にもなります。

原稿の向き	プリント結果	
たて	長辺とじ	短辺とじ
		
よこ	短辺とじ	長辺とじ
		
	用紙の左側または右側とじることができるようにプリントされます。	用紙の上側とじることができるようにプリントされます。

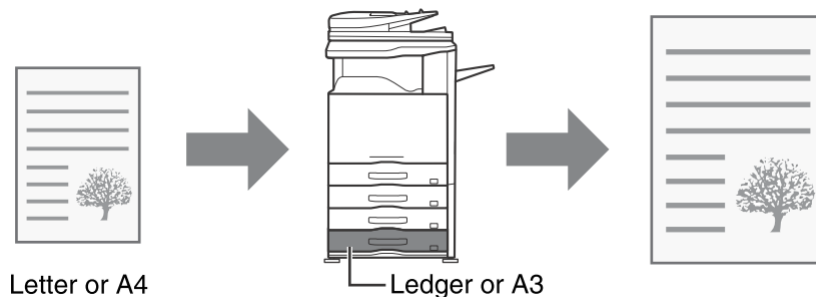
手順

1. 「メイン」メニューを選択する
2. 「両面印刷」で「長辺とじ」または「短辺とじ」を選択する
3. 「原稿の向き」で「たて」または「よこ」を選択する（使用するアプリによっては、アプリ側の向き設定が優先されます）



6-1-3 用紙のサイズに合わせてプリントする

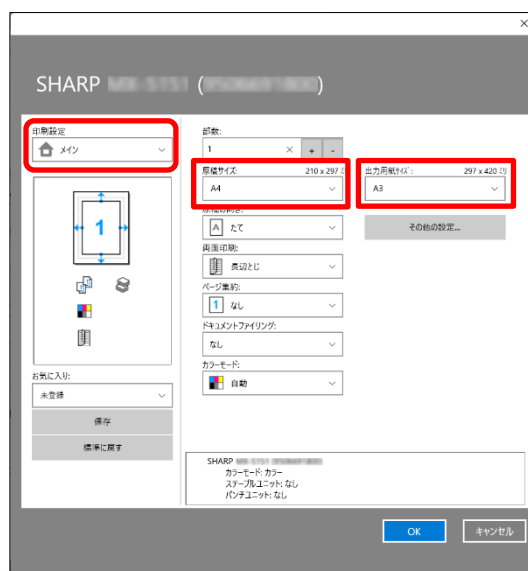
プリンターにセットされている用紙サイズに合わせてデータを自動で拡大または縮小してプリントすることができます。A4 サイズのデータを A3 サイズに拡大して見やすくプリントしたり、データと同じサイズの用紙がセットされていない場合にプリントしたりするときなどに使用すると便利です。



下記の手順は、A4 サイズのデータを、A3 サイズの用紙に合わせてプリントする場合を例に説明しています。

手順

1. 「メイン」メニューを選択する
2. 原稿サイズ（例：A4）を選択する
3. 出力用紙サイズ（例：A3）を選択する

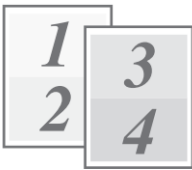


6-1-4 1 ページに複数ページのデータをプリントする

プリントする画像を縮小して 1 ページ上に複数ページを割り付けてプリントすることができます。

写真など複数の画像データを 1 枚の用紙にプリントしたいときや、用紙を節約したいときに便利です。両面プリント機能と併用すると、さらに用紙を節約することが可能です。

たとえば、「2 ページ」（2 ページ/枚）または「4 ページ」（4 ページ/枚）を選択した場合、選択した順序によって次に示すようなプリント結果になります。

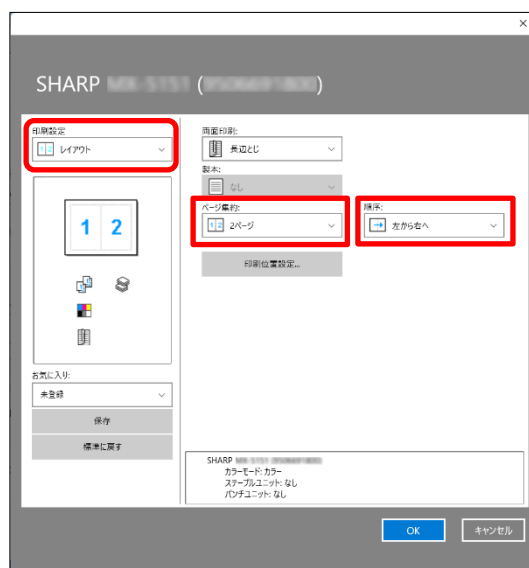
ページ (ページ/枚)	プリント結果		
	左から右へ	右から左へ	上から下へ (印刷の向きが横の場合)
2ページ (2ページ/枚)			

ページ (ページ/枚)	左上から右方向へ	左上から下方向へ	右上から左方向へ	右上から下方向へ
4ページ (4ページ/枚)				

手順

1. 「レイアウト」メニューを選択する
2. 1 ページに割り付けるページ数を選択する
3. 割り付ける順序を選択する

割り付ける順序を変更しない場合は「メイン」メニューで設定できます。



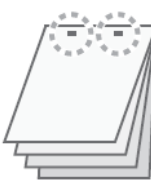
6-1-5 用紙をステープルでとじる/パンチ穴をあける

◆ステープル機能について

用紙をステープルでとじて排紙することができます。

会議用の資料を作成するときなど、ステープル機能を使用すると資料作成の手間を大幅に削減できます。両面プリント機能と併用すると、さらに完成度の高い資料を作成することも可能です。

とじ位置とステープル数を設定することにより、次のようなステープルプリントができます。

ステープル	左とじ	右とじ	上とじ
1箇所とじ※			
2箇所とじ			

※ ステープルの向きは、用紙のサイズや向きによって異なります。

◆パンチ機能について

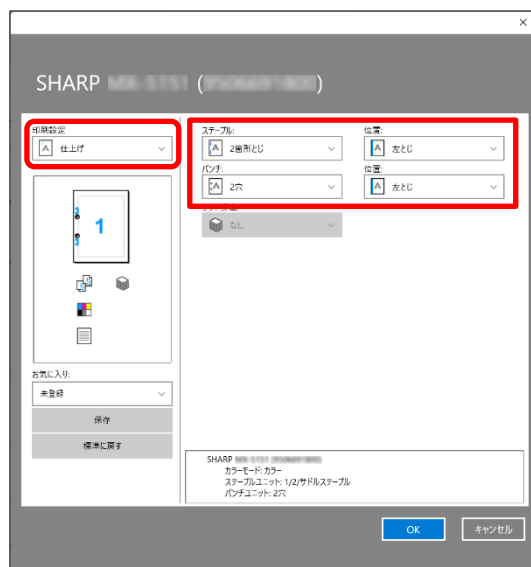
パンチ機能を設定すると、プリントした用紙にパンチ穴をあけて排紙することができます。パンチ穴の位置は、とじ位置で設定できます。

左とじ	右とじ	上とじ
		

- ステープル機能を使用するには、フィニッシャーが必要です。
- パンチ機能を使用するには、フィニッシャーにパンチユニットを装着する必要があります。
- ステープルでとじることができる最大枚数は、お使いの複合機の仕様に従います。
- ステープル機能とオフセット（ジョブ単位ごとに位置をずらして排紙する）機能は同時に使用できません。
- 複合機のシステム設定（管理者）でフィニッシャーの使用が禁止されているときは、ステープル機能とパンチ機能は使用できなくなります。
- 複合機のシステム設定（管理者）でステープルまたはパンチ機能の使用が禁止されているときは、ステープルまたはパンチでとじることとはできません。

手順

1. 「仕上げ」メニューを選択する
2. 「ステープル」メニューでステープル数を選択する
3. 必要に応じてとじ位置を変更する
 - パンチするときは、「仕上げ」メニューの「パンチ」にて設定します。



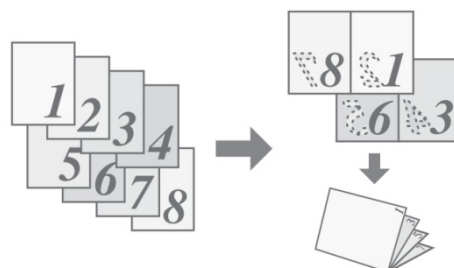
6-2 便利なプリント機能について

ここでは、プリントする目的に合わせて使える便利な機能について説明します。

用紙サイズの設定など基本的な設定が行われていることを前提に説明しています。Sharp Print Support App 設定画面の開きかたや基本的なプリントのしかたについては、5-1 基本的な印刷の仕方を参照してください。

6-2-1 冊子の作成に役立つ仕上げ機能

二つ折りにすると、中とじの冊子になるように用紙の表裏にプリントします。プリントした用紙をパンフレットのように製本して仕上げるときに便利です。

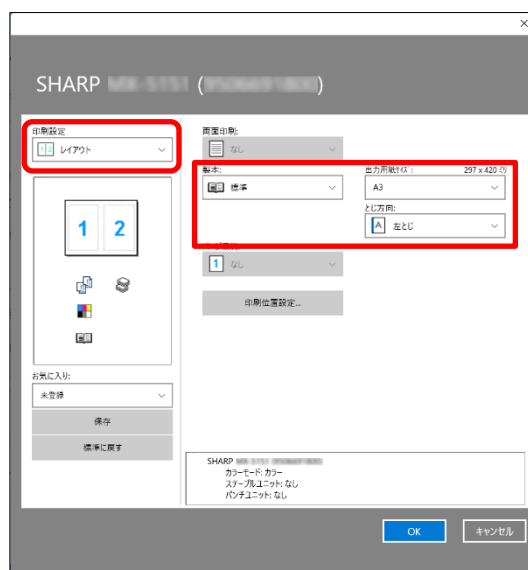


手順

1. 「レイアウト」メニューを選択する

2. 「標準」を選択する

必要に応じてステープル設定や出力用紙サイズやとじ方向を変更します。



6-3 知っておくと便利なプリント機能

6-3-1 プリントデータを保存して使用する（リテンション／ドキュメントファイリング）

プリントデータを複合機内蔵のストレージに保存し、必要なときに複合機の操作パネルからプリントできる機能です。保存場所の指定もでき、他のユーザーのプリントデータとの混在を防ぎます。

印刷せずにホールド

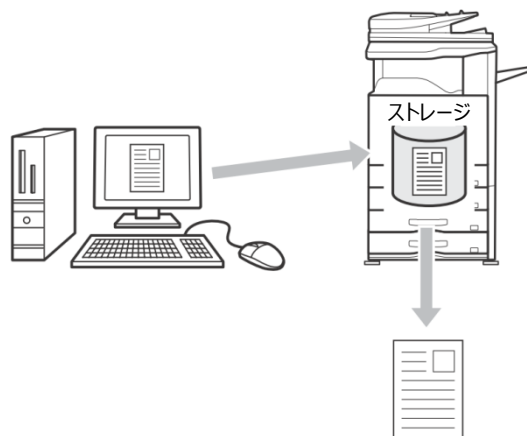
データをプリントせずに複合機のストレージに保存します。

印刷後ホールド

データをプリントし、プリントデータをストレージに保存します。

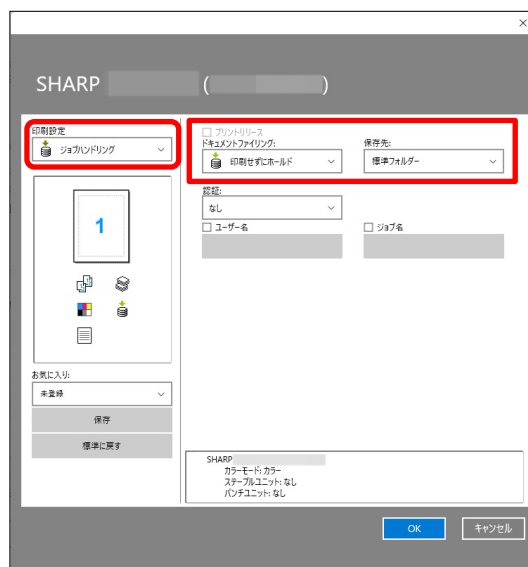
サンプルプリント

複数部プリントするときに、1部だけプリントされます。プリント内容を確認後、残りの部数を複合機の操作でプリントできるので、大量のミスプリントを防げます。



手順

1. 「ジョブハンドリング」メニューを選択する
2. 「ドキュメントファイリング」で「印刷せずにホールド」「印刷後ホールド」「サンプルプリント」を選択します。



シャープ株式会社